

平成26年度第2回白井市廃棄物減量等推進審議会会議録（概要）

- 1 開催日時 平成26年10月23日（木） 午後2時から4時30分まで
- 2 開催場所 市役所4階第2会議室
- 3 出席者 委員 渡邊委員、市川委員、大野委員、西改委員、田中委員
寺田委員、新堀委員、藤田委員、古田委員
事務局 染谷環境建設部長、伊藤環境課長、金森主査、佐藤主事
欠席者 宇津野委員、北澤委員、鈴木委員
- 4 傍聴者 0人
- 5 議題 (1) ごみ減量化・資源化基本方針（行動ガイドライン）の見直しについて
（公開）
(2) 答申（案）及び今後のスケジュールについて（公開）
- 6 配布資料 ①審議会次第
②ごみ減量化・資源化基本方針（行動ガイドライン）（素案）
③ごみ減量化・資源化基本方針（行動ガイドライン）（素案）に対する
修正結果一覧表
④マイバッグ・マイボトルの啓発への意見に関する資料
⑤答申書（案）
⑥今後のスケジュール
- 7 議事 以下のとおり

○事務局 出席及び行政協力に対する御礼

○事務局 辞任委員の報告
資料の確認
欠席委員の報告

○会長 あいさつ

○事務局 自己紹介（省略）

○事務局 平成26年度第2回白井市廃棄物減量等推進審議会を開会する。
これより、会長に議事をお願いしたい。

○会長 それでは、お手元の次第に基づいて、会議を進めさせていただく。その前に、概要版について説明したい。概要版は、行政が責任を持って答申後にまとめるものなので、今までの貴重なご意見を参考に、事務局にて作成をしていくこととなる。皆さんには、労を煩わせたと思うが、ご容赦いただきたい。さて、それではこれより議事に入る。ごみ減量化・資源化基本方針（行動ガイドライン）の見直しについて、事務局から説明願う。なお、事務局のまとめ

た本日の案は、これまでの各委員の熱心な議論の積み重ねの結果であることを認識頂き、効率的な議事進行にご協力願いたい。

- 事務局 (配布資料を基に、ごみ減量化・資源化基本方針(行動ガイドライン)の見直しについて説明)
- 会長 それでは、事務局の説明に対して、ご意見・ご質問を願う。無ければ私からだが、循環型社会形成推進基本法での脚注説明にある、「廃棄物処理やリサイクル」について。廃棄物の「適正処理」は、この法律で定めている「優先される処分の順番」としては最後になるので、ここは「廃棄物処理」を「廃棄物削減」という言葉に置きかえたら、法律の趣旨に合う形になるかと思う。事務局いかがか。
- 事務局 委員の皆さんがよろしければそちらで修正する。
- 委員 異議なし。
- 事務局 では、そのように。
- 会長 「市の特質に根ざした」について、意見のとおり反映として削除とあるが、この基本方針の減量目標は印西地区ごみ処理基本計画よりも厳しい目標を掲げたり、生ごみについて高層住宅の問題は残るが、堆肥化した後の使い道や飼料化も含めて検討という、様々な新しい提案があった。特に梨の剪定枝の資源化は白井市ならではのものなので、「市の特質に根ざした」という文言は非常に大事だと思うがいかがか。
- 事務局 市の特質については、何が「市の特質」なのか、その説明がないため削除した面がある。この前段や後段、あるいは欄外に「市の特質」と注釈を加えておく形なら、入れることも可能だと思うが。
- 委員 これは特質というよりも地域性と言える。例えば、白井市は突出して梨面積、梨の剪定枝が存在し、これは他の市町にはない。そういう意味の地域性であり、地域の特質ではない。地域性が反映された資源の有効利用・有効活用あるいは生ごみを含む資源の再生という点で地域性を踏まえている。白井市の地域の特徴、地域性という意味で使っているので、特質とはニュアンスが違う。
- 事務局 構成市三市町の中での、白井市の特性を表している、ということか。
- 委員 そうである。
- 事務局 それであれば、三市町それぞれの地域性を比較した中で、白井市はこういうところに特性があると文面の中に入れるか、あるいは注釈の中に白井市の特性とは何々であるということを入れたい。いきなり地域性と出てきても、市民は読むとき何のことか分からない。注釈を加えた上でなら、可能かと思う。
- 会長 脚注に「梨の剪定枝等、市独自の取組みを提案」というような注釈を加えたような格好でまとめていただくと。
- 事務局 では、「印西地区環境整備事業組合の構成三市町における白井市の特性に根ざした」とつけ加えて、その特性とは何かというのを注釈に入れる形で。
- 会長 印西市・栄町の地域特性まで入れると長くなり過ぎるのでは。
- 委員 長いと思う。
- 事務局 ではそれは入れずに、白井市の地域の特性として入れる。
- 会長 脚注の中で、この周辺地域の中では梨の生産が多く、剪定枝の資源化が先行している、先駆

的事例としてあるというような感じの説明で。

- 事務局 分かりました。
- 委員 全体的に、文章が丁寧過ぎて、逆に分かりにくくすっきりしない。これを幾つか脚注に持ってきた方が良いのかなと思うが。
- 委員 読みやすさから言えば、脚注にしたほうが読みやすい。本文と、興味がある人は下の脚注を見れば良いような構成のほうが良いと思う。
- 委員 あとは本当にそれが白井市の特性になるのかどうか。
- 会長 立派な特性と確信している。
- 委員 有効利用という点で「もったいない」という言葉がぴったりの資源が存在している。恐らく、他の地域では評価できない、まさに白井市の固有の財産と言える。
- 委員 梨の木を資源化するというのは、具体的にどういうことをいうのか。
- 委員 剪定枝を堆肥化すること。3年間なら3年間チップにした状態で堆積しておいて、街路樹の被覆材や生ごみ堆肥化につながるわけで、とりあえず剪定枝をただ焼却することをしない。これは、堆肥の有効な副資材になる。
- 委員 現在はやっている途中なのか。
- 委員 すでにやっている農家もいる。大半が自分で燃やしているか、地元の企業に持ち込んで無料で焼却してもらっているというのが現状。白井市ですごく主張できるのは梨の面積、剪定枝が市町村レベルでは全国一であるということ。そういう点はやはり評価しておいて良いと思う。
- 会長 本文には簡単に書いて、長くならないように脚注で整理すると。これでいかがか。
- 委員 異議なし。
- 委員 これはカラーのまま印刷するのか。最終的なでき上がりは。
- 事務局 今回、審議用に訂正した部分の色付けは無くなる。
- 委員 では強調したい赤字は残すと。
- 事務局 そうです。
- 委員 これは、脚注が追加になっても1ページにおさまるようにするのか。
- 事務局 その予定ではあるが、少し行間が狭くなってしまうかもしれない。
- 委員 これを読むのは誰か。
- 会長 市民である。
- 委員 一般の人はこれを見たとき、今の脚注だけで何のことか分かるだろうか。
- 会長 梨の剪定枝を堆肥化する有効活用を行っているということで。
- 委員 先程言われたように、こういった丁寧を書くことや、難しい日本語を多用して、それで分かるのか。赤字部分は分かるだろうが、他は分からないと思う。多分それが一般的な感覚ではないか。だから、もっと分かりやすいほうが良い。
- 委員 あまり長い文章ではないほうが良い。
- 委員 これが市民に配られて、さっと見て分かるのかなど。皆が分かるような書き方はないのかなと思う。
- 会長 かなり分かりやすい文章になったとは思う。

- 委員 さっと資料を読んで、最初のときわからなかった。だんだんと分かるようになっていったが、ぱっと見ではどうか。あと読むかどうかが問題。
- 委員 主婦の立場だと、あまり読みたくないと感じる。
- 委員 基本方針なので、こういう形になるほうが良いと思う。ただ、基本的な考え方という大枠の中で、本当に地域性の部分を1番に推していくのであれば、そこを第1として優先して挙げるがけど、読んでいくと、それぞれチップ化の検討とか、項目があるわけだから、ここで地域の特性を生かしてと、具体的に載せていく形でも良いのかなと思う。脚注だけで説明書きして読んでくれれば良いけど、なかなかそこだけで関心を持たせるのは難しいかと。これはこのままにして、「チップ化の検討」のところ、その地域性の説明をするのも一つの方法かと思う。
- 会長 いずれにしても短い言葉で。「何ページ参照」というのも一つの手かもしれない。
- 委員 やっぱり「基本的な考え方と現状」なので、すっきりと。この1ページを見れば大体ここにはこんなことが書いてあるのだとわかれば、次に読み進んでくれるけど、最初から何もかもここに入れ込みたいと思うと、普通の人がそこまで読むかなと。
- 委員 ただ、具体的な提案はしないと、何となくこれが分かりにくいというのだと先に進まない。例えば、ここはこう変えろとかいう話にしないと進まないと思う。だらだら長い文章より、3行ぐらいが一つの句読点になっているから、例えばそれをもうちょっと短くするとか。根本から変えるというのは、もうこの場ではやめたほうが良いと思う。さんざんやってきてここまでまとまってきたのを、またゼロベースでやるというのはおかしいから。せいぜいこの場の議論は、もうちょっと簡潔にするとか、箇条書きとは言わないけれど、そのくらいにしていくとか、そのぐらいの議論で留めるべきではないか。根本までひっくり返すのは無理だと思う。
- 会長 いずれにしても、簡潔な文章でまとめる方向で。
- 委員 文章で「ごみ処理に関する問題」を「ごみ処理問題」にするなど、もっと簡便化できると思う。先程から言っているように文章を根本から変えろという話ではなく、まどろっこしい表現が多いので縮められるところは縮めようという提案である。例えば、「ごみ処理問題は私たちの」から「環境問題の一つであります」と、そこで切る。これを見るとだらだら続いて何が言いたいのか分からなくなってしまう。
- 委員 やっぱり簡潔明瞭にやったほうが相手も分かるし自分も分かる。分かるように簡単にやらないといけない。それから先ほど出た梨の剪定の件について。梨の剪定はチップにすると盛んに言われているが、梨の剪定枝を、11月から12月にかけて各農家は畑で燃やしている。あれはもう少し何とかならないかと思っている。だんだんとチップ化になってくれれば、非常に良いことである。
- 会長 素案の構成については、できるだけ前のところに情報を盛り込むようにという以前あった提案のもと、その方向で議論してきた。ただ、文章を分かりやすく短く切っていくことは必要だろうと思う。
- 委員 内容はこれで結構だが、易しい言葉、短い文章で表現してほしい。
- 会長 皆さんのご意見で、足るを知るにより「無用な物を買わない」が「余計な物を買わない」に

変わるなど、非常に改良されてきている。

○事務局 今ご指摘いただいたとおり、確かに長い文章になっている。その辺はもう一度よく見直して、趣旨・内容は変えずに、文章を一読できる範囲で区切った中で整理をさせてもらいたい。

○会長 では、そのようにお願いしたい。

○委員 直した文章を、皆さんメールをお持ちだと思うので、メールで送ってもらって確認したらどうか。いま思いつきで言うよりも、家でじっくり考えた方が良いと思うが。

○会長 そのために事務局に事前配布していただいている。結果がこうなったという報告はしてもらおうが、それに対する意見というのはもうしない形で。

○委員 最終的には事務局の判断で構わない。ただ、直した文章も多数の人の目で見れば、つまらない字句の間違いも訂正出来る。また、何か足りないという事も見つけられる。従って、修正意見に対する取舍選択の権限は事務局の判断で結構だというのが私の意見である。

○事務局 修正したものについては当然皆さんのところへお送りする。それを見ていただいて、指摘があればその都度寄せていただきたい。修正した素案を会長に確認いただいて、問題なければ答申となるが、その後、市の方でまた内容を少しずつ吟味していく。その段階で、皆さんからもらった意見については、反映できるものは反映し、市の方でこれは参考にしましょうとなれば、それはそれで参考とする。とりあえず、修正したものは皆さんにお送りする。

○委員 この事前配布された素案は、ワードで送られたものだったか。紙だったか。

○事務局 事前配布しているのは、紙ベースである。

○委員 できれば、紙は極端に言うとなくても良いから、ワードで送ってほしい。直す場合に自分で一々入力するのが大変だから。

○事務局 それではワードで送る。希望される方は後ほどアドレスを教えていただきたい。

○会長 いずれにしましても、例えば、「関する」というような余計な言葉は削って、なるべく短くして読みやすくすると。その結果はお送りするという事で、留めさせていただきたいと思う。いかがだろうか。

○委員 異議なし。

○委員 水切りの仕方について提案させてもらったが、薄いビニールの袋、よくスーパーへ行くと刺身や肉に入ったパックを入れる袋、そういう薄いビニールの下に、ボールペンで穴を4～5カ所突いて穴をあける。自宅でお茶っ葉、お茶をこぼすときに、その袋に入れて置いておくと、そのまま水が出てくる。それだけでは不十分だから、それをさらに絞ると、よく水分が取れる。ただ、穴をあけないでそのまま入れてしまうと、水がそのまま入ってしまう。絞るよりもむしろ穴をあけて置いておくことで、自然に水が出てくる。

○会長 実践して効果がある取組みということで、いかがか。二重バケツはおいといて。

○委員 三角コーナーを傾ける、ペットボトルで押して水を切る等、既に水切り一例は五つ出ている。

○委員 三角コーナーで結構水は出る。

○委員 主婦の立場から言うと、そう細かいところまでの指図がなくても、とにかく水を切るということがわかれば良いのではと思うが。

○委員 野菜くずと一緒に捨てたときに、ただ三角コーナーに置いていても水は切れない。

○委員 だから、傾けて置くとか、一晚置いてとか。

- 委員 この5つある取組み一例の中で、三角コーナーを使うのが二つある。これらを一つにまとめて、先程の提案を入れるのはどうか。二重バケツでの水切りは、お金もかかってしまうという面もあるが、先程の意見は、三角コーナーの一例を一つに簡単にまとめれば、一つそこに入れると思う。
- 委員 実際に、主婦の方って結構忙しい。そこまで細かくやるのは、多分無理だと思う。オプション的な形で書き加えるのは良いかもしれないが、実際には無理だと思う。例えば、夜にやって、朝起きたときに水が切れている。それを生ごみとして出すのが精いっぱい。それをまた絞ってとなると、かなり無理がかかってくる。あとはもう生ごみを乾燥させるしかない。かといって外に干しておく、今度は臭いが出たりハエがたかたりする。以前よりは、大分水切りの袋が出てきているから、オプション的な形で、このような方法もあると明記していくのが、一番易しいのではないのかなと思う。
- 委員 生ごみは一晩置いといたら結構汚い。ゴキブリが来るかもわからない。その場できゅっと水を絞って、ごみ袋に入れて縛って置いておかないと。
- 事務局 このご提案については、加えさせていただきたいと思う。ただ、文章の表現として、「ビニール袋の底に、小さな穴を5～6カ所あけ、絞り出す」といったものを加えるとか、いくつか工夫したい。そういう表現でもよろしいか。
- 委員 分かりやすくやっていただければ構わない。
- 会長 それでは、水切りの一例として加わるということで、次に進む。
- 会長 「足るを知る」が一般的な用語でないのご意見があり、それについて私も調べてみた。そもそも「足るを知る」は、平成25年5月の閣議決定文書から引用してきたもので、閣議決定する文書というのは必ず内閣法制局が目を通し、不適切な表現は修正される。その他の6省庁のFOODLOSSのレポートにも、「足るを知るで余計な物は買わない」等、かなり行政では「足るを知る」を使っている。一般的な用語とは多少違う意味合いで用いられている点について、ご理解いただきたい。
- 委員 インターネットで探ってみると、「足るを知る」とはどういう意味か聞いているように、まだ質問をしているのが載っている。だから、まだ意味がよく理解されていないということであれば、余計な物は買わないように心がけますぐらいが良いのではないかな。
- 会長 廃棄物行政の世界では、今「足るを知る」というのがキーワードになっている。最近の廃棄物行政の世界、学者も含めて「足るを知る」でごみの削減を一生懸命やろうと力が入ってきて、3Rから2Rになってきた。そのことも踏まえ、「足るを知る」をキーワードに提案させていただいた。ちゃんと脚注を入れていただいているので、このキーワードは使う形でいかがだろうか。「もったいない」というのはもう定着しているので、新しい計画に新しいキーワードということで。
- 委員 異議なし。
- 会長 それでは、次に進む。
- 委員 家庭から出る枝葉、枯れ草等を何とか堆肥化・資源化できないかという提案についてだが、30年先の見通しをすれば、事業だけでなく、家庭から出る枯れ草、枝、剪定枝等も堆肥化・資源化に含めて良いのではないかと考えて提案した。これは今後の取組み課題として、素案

- 委員 素案6ページの「資源物の分別徹底」という項目で、燃やすごみ470gの中に、紙類が8.5%、プラスチックが6.2%の分析結果を用いて、平成35年度で25%削減した場合、資源紙類は約240トンの減量となっている。しかし、5ページの生ごみの水切りの方を見ると、そういう算出になってない。これも同じ予測人口をもとにごみの減量を計算しないと整合しないのではないかという気がする。
- 会長 事務局、いかがか。
- 事務局 ご意見ありがとうございます。検討して精査します。
- 会長 その他いかがか。では、議題(1)「ごみ減量化・資源化基本方針の見直しについて」は、事務局にまたご苦勞をかけるが、「基本的な考え方」の余計な言葉を省いて、短く切っていくということを宿題にして、終わりとさせていただく。では、続いて議題(2)「答申(案)及び今後のスケジュールについて」、事務局より説明願う。
- 事務局 (配布資料を基に、答申(案)及び今後のスケジュールについて説明)
- 会長 スケジュールの資料右横に、「パブコメ意見を取りまとめ、委員に送付」とあるが、ドラチック(過激)な意見が出てきた場合、どうするか。
- 事務局 例えばどのような。
- 会長 かなり改変しなければいけないようなご意見が出た場合。
- 事務局 あまりにも根幹にかかわるような意見が出たら、何らかの形で皆さんにご意見を伺う可能性はある。パブリックコメントの意見次第なので、結果が出たときに、改めてご連絡を差し上げる形になると思う。
- 会長 分かりました。では事務局の提案で結構ということで、皆さんよろしいか。
- 委員 異議なし。
- 委員 答申(案)について。一番上の行にある「ご」を、改行して下に。「ごみ」から始まる様に。
- 会長 答申書なので、形を整えることは大切である。
- 事務局 では、改行し、後日会長に確認いただく。そこで問題なければ、会長のサインをいただいて、来週31日に市長へ答申していただくこととしたい。
- 会長 皆さん、よろしいか。
- 委員 異議なし。
- 会長 それでは議題(3)「その他」について、事務局から何かあれば、お願いしたい。
- 事務局 特にないが、パブリックコメントで内容に大きく関わる、重要な意見があったとき等、またご助力いただく可能性があるのも、そのときはご協力をよろしくお願いしたい。
- 会長 事務局からは以上でよろしいか。
- 事務局 はい。
- 会長 ちょっと細かいことで恐縮だが、答申書には委員の名簿が付くのか。
- 事務局 付くと思うがそこは確認する。
- 会長 もし、付く場合には、梶山委員について、途中退任と注意書きのうえ入れておくべきかと思うので、検討していただきたい。
- 事務局 分かりました。
- 会長 皆さんから他にいかがか。

- 会 長 それでは、本日はご協力ありがとうございました。皆さんにはこれまでの議論の積み重ねも含めて、深く感謝申し上げたい。
- 委 員 すみません、終わりかけに申し訳ないが、「資源物の分別徹底」のところよろしいか。新聞紙、雑誌、段ボールというのは資源物として皆さん出しているが、これからは雑がみを資源ごみとして出すことが、大事になってくると思う。白井市はレシートの感熱紙も資源ごみで回収できるようになったが、そういうPR部分が、この中には全く無い。「燃やすごみではなく資源物として出す」ということで、一番重要なのは雑がみだと思う。それを強調するのがちょっと足りなかったかなど。例えば、優先的な取組みのところに「ごみを発生させない方法（一例）」とかが書いてある。こういう形で入ると、結構目立つし、理想かと思う。
- 会 長 では、「約15%は資源物」に括弧書きで、「(特に雑がみ)」と赤字で強調しておくか。「特に雑紙も資源物」と。
- 委 員 それか、雑がみとは何であるかというのを、一例にして入れるとか。
- 委 員 これは完成後、各家庭に配られるのか。もう少し具体的なことを書く必要があるのでは。「そんな理念ばかり言われたってどうしたら良いの」となるのでは。
- 事 務 局 こちらについては、広報等での公表はもちろんするが、各家庭に配るのは、概要版のみの予定である。
- 会 長 ではここは、雑がみとは何であるかについて書いて、四角で囲っていただくと。
- 事 務 局 文脈の中に入れるのはなかなか難しいので、特書きして四角で囲う形で。
- 会 長 雑がみとはこういうものを言うと、分かりやすい例を四角く入れていただいて、強調する。
- 委 員 そうなれば大分目立つし、取組みやすくなると思う。
- 会 長 では事務局、申し訳ないが、「資源物の分別徹底」の下に、「雑紙も資源物です」と、「雑紙とは、領収書や…」と幾つか例示していただいて、四角く囲んでいただくというようなことで、よろしいか。
- 事 務 局 分かりました。それではそちらを含め、今日いただいた全ての意見を基に修正したものを、答申前に一度会長に確認いただき、そちらで問題なければ答申とする。答申したものについては、皆さんにも送付することよろしいか。
- 委 員 異議なし。
- 会 長 事務局には苦勞をかけるが、よろしくお願ひしたい。それでは、本日の審議会は以上になる。本当に、昨年11月以来、非常に熱心に議論をしていただき、今回の素案に対しては、特に適切なお意見多数拝見させていただいた。皆さんのご協力とご苦勞に、心より感謝申し上げます。私からの閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

以上